



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 ニプロ株式会社 上場取引所 東
コード番号 8086 URL <https://www.nipro.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 嘉彦
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理統括 (氏名) 余語 岳仁 (TEL) 06-6310-6804
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	439,135	8.1	22,362	69.7	20,010	45.3	12,629	81.4
2023年3月期第3四半期	406,301	10.0	13,179	△33.2	13,772	△33.0	6,962	△36.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 41,300百万円(△5.4%) 2023年3月期第3四半期 43,643百万円(68.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	77.44	68.61
2023年3月期第3四半期	42.69	37.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,111,899	280,628	21.9
2023年3月期	1,027,399	242,173	20.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 243,391百万円 2023年3月期 206,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	13.50	—	8.50	22.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	599,240	9.9	24,000	35.4	20,650	34.6	11,200	144.8	68.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	171,459,479株	2023年3月期	171,459,479株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	8,363,263株	2023年3月期	8,363,001株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	163,096,334株	2023年3月期3Q	163,096,715株

(注) 2024年3月期3Qおよび2023年3月期の期末自己株式数には、株式会社日本カस्टディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2024年3月期3Q : 599,900株、2023年3月期 : 600,000株) が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動制限の緩和からデフレ脱却への局面を迎え、緩やかに持ち直す動きがみられました。一方で、世界経済は高インフレに対する各国の金融引き締めや欧州における労働需給のミスマッチなどから成長減速が強まる状況にあり、先行き不透明な状況で推移しました。

医療機器、医薬品業界におきましては、物資の高騰や医療従事者の慢性的な人手不足等、各医療機関の経営環境はより一層厳しさが増しつつある一方、中長期的には高齢化の進展、新興国における医療インフラの整備、先進国におけるデジタル化の推進など、安定的な成長要素が見込まれます。このような状況下においても、当社グループは、すべての人が適切な医療を受けることができる持続可能な世界を実現すべく、より安全な医療環境を整備するための一翼を担い、医療機器・医薬品メーカーとしての責任と役割を果たしてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されるなか、主力の透析、ホスピタル関連製品の需要機会を逃すことなく販売、プロモーション活動に注力したことに加え、海外売上高においては、為替相場が期間を通じて円安方向で推移したため、堅調に推移しました。国内においては、2022年12月に販売を開始したエソメプラゾールが当期の売上高増加に大きく貢献しました。この結果、連結売上高は前年同期比8.1%増加となる4,391億35百万円となりました。

利益面におきましては、原材料・エネルギー価格の高騰および円安による輸入資材価格の高騰等、大きな影響を受けましたが、販売価格への転嫁と生産数量増加によるコスト削減効果により利益の確保に努めました。さらに物流費の急騰が一服したことや、治験完了に伴う治験費用の減少等で、販売費及び一般管理費の増加が抑えられたため、営業利益は前年同期比69.7%増加の223億62百万円となりました。

経常利益は、外貨建預金や売掛金の換算替えによる為替差益は縮小したものの、堅調な営業利益に支えられ、前年同期比45.3%増加となる200億10百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当第2四半期までに実施した政策保有株式の売却による特別利益の増加により、前年同期比81.4%増加の126億29百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 医療関連事業

国内販売におきましては、メディカル営業部門で植込み型補助人工心臓が引き続き好調に推移したほか、注射・輸液関連製品においても価格改定により好調に推移しました。しかしながら、バスキュラー関連製品の当社占有市場に対する他社参入の影響や、透析装置設置の減少により全体では低調な推移となりました。

医薬営業部門におきましては、引き続きネキシウムAGのエソメプラゾールが59大学病院本院で採用される等、順調に拡大してまいりました。あわせて、不採算品再算定の適用となった医薬品の値上げにつきましても市場の理解を得ながら改善が進み、売上高、利益ともに好調に推移しました。また、依然として供給問題が続くなかでの得意先への丁寧な説明と真摯な対応が高い評価をいただき、ニプロMRのプレゼンス向上に寄与するものとなっております。

海外販売におきましては、学術活動の深耕と技術営業の向上により各国KOLとの連携強化ならびにシステム販売をさらに拡充することで高機能、高付加価値商品の販売に注力しました。また、2023年9月にコロンビアにおける感染症学会、同年11月に米国ペンシルバニアにおける腎臓学会、同年12月には台湾での透析医学会にそれぞれ出展、参加し、同地域でのニプロブランドの浸透と販売強化を図ってまいりました。このような状況下、主力の透析関連商品が、欧州、アジア、インド等、各地域での販売が順調に推移した結果、前年同期比で増収となりました。

自社透析センターも、引き続き世界各国で市場を拡大しており、当第3四半期においては中国、タイ、インド、南アフリカで計9施設を新規開設しました。新興国を中心に質の高い治療を提供できる環境を整え、地域医療に貢献し続けてまいります。

運送費におきましては、海上運賃が正常に戻りつつある一方、国内外の陸送コストは上昇傾向となっているため、今後も地産地消の促進、ハブ倉庫の活用、安全在庫の確保などにより、安定供給および経費削減を推進してまいります。これらの活動を通し医療現場のニーズに迅速に対応することにより、顧客満足の向上に努め、売上高の拡大、利益の確保につなげてまいります。

生産拠点におきましては、大館工場で新しく完成した第7工場のダイアライザ新生産ラインの稼働が、予定通り2023年10月より開始いたしました。今後、2024年4月には、さらに追加するダイアライザ増産ラインの稼働を計画しており、さらなる供給能力の拡大に尽力してまいります。

この結果、当事業の売上高は3,403億45百万円(前年同期比8.3%増)、セグメント利益(営業利益)は353億73百万円(前年同期比14.9%増)となりました。

② 医薬関連事業

医薬関連事業におきましては、受託製造事業で新規品の出荷や感染症領域での受注増加があったほか、前年に受注が減少していた製品の回復もあり、当第2四半期に引き続き注射剤の出荷数が増加しました。一方で一部製品の一時的な受注減やジェネリック製品の終売による出荷減少もあり、売上高は前年同期比で微増となりました。

営業利益につきましては、原材料・エネルギー価格の高騰や、生産キャパシティの拡大に向けた設備投資に伴う償却費の増加および抗菌薬製剤増産のためのプロジェクト費用の計上があったものの、仕切価格の変更による利益率改善に加え、ニプロファーマ・ベトナム・リミテッドにおける生産効率の改善活動の効果もあり、前年同期比で増加となりました。

この結果、当事業の売上高は542億45百万円(前年同期比1.3%増)、セグメント利益(営業利益)は53億8百万円(前年同期比140.4%増)となりました。

③ ファーマパッケージング事業

ファーマパッケージング事業におきましては、医薬用包装容器およびガラス管(医薬用包装容器の材料)の増産体制を整備するとともに、人的リソースの確保を進め、あわせてインフレに伴うコスト増加を緩和する施策を展開しました。工場横断的な生産性の向上および調達単価の低減に尽力したほか、重点品の市場開拓を積極的に推進しました。

日本市場におきましては、硝子関連製品に加え、高利益品であるインジェクションセット、デンタル針、バイアル製剤、調製デバイス等の販売が堅調に推移しました。欧米市場については、販売単価の適正化により主要製品群は増収となりましたが、在庫調整局面にあるガラス管の出荷は軟調でした。中国市場では、ワクチン需要減少に伴い収益率が減少しましたが、付加価値の高い製品のプロモーションに注力しております。

なお、当第3四半期において、フランスのガラス管新工場立ち上げに伴う関連費用が発生しております。

この結果、当事業の売上高は439億2百万円(前年同期比15.6%増)、セグメント利益(営業利益)は16億38百万円(前年同期比35.4%減)となりました。

④ その他事業

その他事業におきましては、不動産賃貸等による売上高が6億42百万円(前年同期比21.1%増)、セグメント損失(営業損失)は2億円(前年同期は1億66百万円のセグメント利益(営業利益))となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1兆1,118億99百万円で、前連結会計年度末に比べ845億円の増加となりました。このうち流動資産は467億16百万円の増加、固定資産は377億83百万円の増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金が221億81百万円増加したことによるものであり、固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産の建物及び構築物(純額)が369億23百万円増加したことによるものであります。

一方、負債合計は8,312億70百万円で、前連結会計年度末に比べ460億45百万円の増加となりました。このうち流動負債は555億51百万円の増加、固定負債は95億6百万円の減少となりました。流動負債の増加の主な要因は、短期借入金375億14百万円増加したことによるものであり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金181億71百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は2,806億28百万円で、前連結会計年度末に比べ384億54百万円の増加となりました。このうち株主資本は95億6百万円の増加、その他の包括利益累計額は275億67百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.8ポイント増加し、21.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益が通期連結業績予想を上回っております。2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、特に医療関連事業においては計画以上に推移しているものの、原材料・エネルギー価格の高騰の影響や為替の動向が不透明なため、2023年11月9日に公表いたしました業績予想を据え置いております。なお、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	89,678	79,425
受取手形及び売掛金	160,271	182,453
商品及び製品	137,774	151,726
仕掛品	17,427	20,996
原材料及び貯蔵品	52,592	57,180
その他	35,701	48,968
貸倒引当金	△4,157	△4,745
流動資産合計	489,289	536,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	287,677	332,365
減価償却累計額及び減損損失累計額	△147,531	△155,295
建物及び構築物(純額)	140,145	177,069
機械装置及び運搬具	360,642	403,308
減価償却累計額及び減損損失累計額	△265,162	△284,413
機械装置及び運搬具(純額)	95,480	118,894
土地	47,123	47,617
リース資産	35,947	37,750
減価償却累計額	△13,115	△15,782
リース資産(純額)	22,831	21,967
建設仮勘定	103,336	82,039
その他	89,858	100,948
減価償却累計額及び減損損失累計額	△66,224	△73,483
その他(純額)	23,633	27,464
有形固定資産合計	432,550	475,052
無形固定資産		
のれん	14,514	17,395
リース資産	2,302	2,095
その他	17,187	16,685
無形固定資産合計	34,004	36,176
投資その他の資産		
投資有価証券	37,220	30,782
繰延税金資産	10,377	10,743
その他	30,267	30,149
貸倒引当金	△6,309	△7,011
投資その他の資産合計	71,555	64,664
固定資産合計	538,109	575,893
資産合計	1,027,399	1,111,899

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	76,141	81,825
短期借入金	130,570	168,084
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
1年内償還予定の社債	2,000	2,000
リース債務	4,440	4,585
未払金	23,153	23,880
未払法人税等	4,897	5,035
前受金	426	439
前受収益	578	358
賞与引当金	5,955	8,038
役員賞与引当金	13	1
設備関係支払手形	10,191	19,673
その他	34,542	34,537
流動負債合計	302,910	358,461
固定負債		
社債	76,700	85,700
転換社債型新株予約権付社債	30,210	30,165
長期借入金	316,555	298,384
リース債務	25,265	24,240
繰延税金負債	1,276	1,735
退職給付に係る負債	5,164	5,967
役員退職慰労引当金	686	531
役員株式給付引当金	11	10
訴訟損失引当金	153	204
その他	26,291	25,867
固定負債合計	482,315	472,809
負債合計	785,225	831,270
純資産の部		
株主資本		
資本金	84,397	84,397
資本剰余金	-	1
利益剰余金	95,521	105,026
自己株式	△10,748	△10,749
株主資本合計	169,170	178,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,162	6,471
繰延ヘッジ損益	△47	△53
為替換算調整勘定	28,716	57,152
退職給付に係る調整累計額	1,315	1,144
その他の包括利益累計額合計	37,147	64,714
非支配株主持分	35,856	37,237
純資産合計	242,173	280,628
負債純資産合計	1,027,399	1,111,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	406,301	439,135
売上原価	284,355	307,063
売上総利益	121,946	132,071
販売費及び一般管理費	108,766	109,709
営業利益	13,179	22,362
営業外収益		
受取利息	746	1,148
受取配当金	789	535
為替差益	3,075	1,311
その他	1,860	2,179
営業外収益合計	6,471	5,175
営業外費用		
支払利息	3,163	4,650
持分法による投資損失	1,044	1,425
その他	1,671	1,451
営業外費用合計	5,879	7,527
経常利益	13,772	20,010
特別利益		
固定資産売却益	2,322	841
投資有価証券売却益	501	3,682
国庫補助金	785	367
その他	124	273
特別利益合計	3,734	5,164
特別損失		
固定資産除却損	438	521
固定資産圧縮損	785	161
関係会社出資金売却損	-	1,646
その他	1,558	763
特別損失合計	2,782	3,092
税金等調整前四半期純利益	14,724	22,082
法人税、住民税及び事業税	5,649	7,562
法人税等調整額	1,008	1,018
法人税等合計	6,658	8,581
四半期純利益	8,065	13,501
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,103	871
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,962	12,629

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	8,065	13,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,859	△690
繰延ヘッジ損益	55	△6
為替換算調整勘定	35,845	27,900
退職給付に係る調整額	383	△171
持分法適用会社に対する持分相当額	2,152	767
その他の包括利益合計	35,577	27,799
四半期包括利益	43,643	41,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,204	40,197
非支配株主に係る四半期包括利益	1,439	1,103

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療関連	医薬関連	ファーマ パッケージ ジング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	314,226	53,553	37,990	405,770	530	406,301	—	406,301
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,597	16,772	4,571	25,941	2,621	28,563	△28,563	—
計	318,823	70,326	42,561	431,712	3,152	434,864	△28,563	406,301
セグメント利益	30,788	2,207	2,537	35,533	166	35,699	△22,520	13,179

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等による売上高と本社等の売上高を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△22,520百万円には、未実現利益の調整額△1,485百万円、本社費用△21,034百万円が含まれております。本社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療関連	医薬関連	ファーマ パッケージ ジング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	340,345	54,245	43,902	438,493	642	439,135	—	439,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,001	41,775	4,689	51,466	3,141	54,608	△54,608	—
計	345,346	96,021	48,592	489,959	3,783	493,743	△54,608	439,135
セグメント利益 又は損失 (△)	35,373	5,308	1,638	42,320	△200	42,119	△19,757	22,362

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等による売上高と本社等の売上高を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△19,757百万円には、未実現利益の調整額△608百万円、本社費用△19,149百万円が含まれております。本社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益の分解情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 財又はサービスの種類別の内訳

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医療関連	医薬関連	ファーマ パッケージ ジング	計		
医療機器	232,549	—	2,530	235,079	—	235,079
医薬品	81,628	53,553	304	135,486	—	135,486
ファーマパッケージ ジング製品	20	—	35,009	35,030	—	35,030
その他	27	—	146	174	199	374
顧客との契約から 生じる収益	314,226	53,553	37,990	405,770	199	405,970
その他の収益	—	—	—	—	330	330
外部顧客への売上高	314,226	53,553	37,990	405,770	530	406,301

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等による売上高と本社等の売上高を含んでおります。

2. 地域別の内訳

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医療関連	医薬関連	ファーマ パッケージ ジング	計		
日本	159,706	49,057	8,787	217,551	199	217,751
アメリカ	64,028	—	8,600	72,628	—	72,628
ヨーロッパ	34,997	91	15,137	50,226	—	50,226
アジア	55,493	4,405	5,465	65,363	—	65,363
顧客との契約から 生じる収益	314,226	53,553	37,990	405,770	199	405,970
その他の収益	—	—	—	—	330	330
外部顧客への売上高	314,226	53,553	37,990	405,770	530	406,301

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等による売上高と本社等の売上高を含んでおります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 財又はサービスの種類別の内訳

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医療関連	医薬関連	ファーマ パッケージ ジング	計		
医療機器	244,914	—	3,162	248,076	—	248,076
医薬品	95,354	54,245	538	150,137	—	150,137
ファーマパッケージ ジング製品	71	—	40,108	40,179	—	40,179
その他	5	—	93	98	329	428
顧客との契約から 生じる収益	340,345	54,245	43,902	438,493	329	438,823
その他の収益	—	—	—	—	312	312
外部顧客への売上高	340,345	54,245	43,902	438,493	642	439,135

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等による売上高と本社等の売上高を含んでおります。

2. 地域別の内訳

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医療関連	医薬関連	ファーマ パッケージ ジング	計		
日本	170,731	49,170	9,878	229,780	322	230,102
アメリカ	67,896	0	10,247	78,144	5	78,150
ヨーロッパ	38,752	233	18,893	57,879	—	57,879
アジア	62,965	4,840	4,882	72,688	1	72,690
顧客との契約から 生じる収益	340,345	54,245	43,902	438,493	329	438,823
その他の収益	—	—	—	—	312	312
外部顧客への売上高	340,345	54,245	43,902	438,493	642	439,135

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等による売上高と本社等の売上高を含んでおります。